

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第三百六十六號

明治三十七年十月三日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第七十號

明治三十三年四月和歌山縣令第三十四號和歌山縣稅徵收細則左ノ通り改正ス

但明治三十年八月和歌山縣令第六十五號縣稅徵納處分施行細則ハ廢止ス

明治三十七年九月三十日 和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 敦

和歌山縣稅徵收細則

第一條 縣稅ノ徵收期ヲ定ムル左ノ如シ

但追加稅ノ徵收期ハ其時々之ヲ定ム

一 年稅

前期 五月二十日ヨリ全月三十一日限

分納ノモノ 但地租割ハ四月二十日ヨリ全月三十一日限

后期 十月二十日ヨリ全月三十一日限

一時納ノモノ 五月二十日ヨリ全月三十一日限

(海面遊漁管外來漁、鱸漁、貝取稅)

二 季稅 十一月二十日ヨリ全月三十日限

縣報第三百六十六號 明治三十七年十月三日 第三種郵便物認可

但鮎漁稅ハ六月十日ヨリ全月三十日限

三 月稅 其月ノ十日限

狩獵稅 狩獵免狀交付ノ時々

四 所得稅割 礦業礦區稅割 本稅ノ納期日ニ全シ

五 營業稅附加稅

六 日稅其他ノ隨時徵收スヘキモノハ郡市長ノ指定スル處ニ依ル

徵收期ノ末日休日ニ當ルハ其翌日ヲ以テ納期末日トス

明治三十三年勅令第八十一號第八條ノ各號ニ依ル場合又ハ賦課期日後徵收期マテニ納稅

義務消滅ノ場合ハ郡市長ニ於テ隨時徵收期ヲ指定シテ徵收スルコトヲ得

第二條 徵稅令書ハ郡市長ニ於テ別紙第一號書式ニ依リ市町村ニ發スヘシ但直接納稅人

ニ對シ發スル場合ハ第二號ノ書式ニ依ルヘシ

徵稅令書ハ一定ノ納期アルモノハ其初日ヨリ三日以前ニ之ヲ發シ又隨時ノ徵收ニ係ルモ

ノハ第壹條第一項第六號ノ例ニ依ルヘシ

第三條 徵收令書ヲ受ケタル市町村ハ別紙第三號ノ書式ニ依リ徵收期三日以前ニ各納稅人

ヘ徵稅傳令書ヲ發スヘシ

縣稅ニ附加スル市町村稅ヲ縣稅ト同時ニ徵收スルトキハ縣稅ノ徵稅傳令書ニ其ノ附加稅

ヲ列記スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ縣稅ヲ先收トス

第四條 市町村ノ情況ニ依リ郡ハ郡市長市ハ知事ノ認可ヲ經テ便宜納期日ヲ繰上ケ徵稅傳令

書ヲ發スルコトヲ得

但滞納者ニ對シ督促狀ヲ發スルハ一定ノ納期日後ニアラサレハ之ヲ發スルコトヲ得ス

第五條 市町村ニ於テ徵收シタル縣稅ハ必ス三日以内ニ縣金庫ニ拂込ヘシ

前項ノ拂込ハ郵便爲換若クハ確實ナル送金手形等ヲ以テ之レヲ爲スモ妨ケンレ

稅金ヲ縣金庫ニ拂込トキハ別表第四號書式ノ拂込書ヲ用ユヘシ

第六條 納稅地ノ市町村内ニ住所又ハ居所ヲ有セザル納稅義務者ノ納稅管理人申告書ハ別紙第五號書式ニ依ルヘシ

縣稅ヲ附加スル國稅ノ納稅義務者ニシテ既ニ其ノ國稅ノ爲メニ納稅管理人ヲ定メ在ルモノハ前項ノ申告書ヲ要セス其ノ國稅ノ納稅管理人ヲ以テ縣稅ノ納稅管理ト看做ス

第七條 徵稅傳令書ヲ受ケタルモノ、滞納報告ハ徵收期限後三日以内トス

郡長市長ニ於テ前項ノ滞納報告ヲ受ケタルキハ速ニ別紙第六號書式ノ督促狀ニ相當ノ期間ヲ定メ同時ニ第七號書式ノ納付書ヲ添付シ之ヲ發スヘシ但シ市長ハ第三條第二項ニ依ル滞納市稅ヲ督促狀ニ列記スルコトヲ得

第八條 督促狀ヲ發シタルキハ堂通ニ付手数料金拾錢ヲ縣稅ト同時ニ徵收ス

第九條 郡長市長ハ其ノ郡市書記ヲシテ滞納者ノ財產差押ヲ執行セシムヘシ

前項ノ吏員滞納處分ノ爲メ財產差押ヲ爲スキハ第八號様式ノ証票ヲ携帯セシムヘシ

差押ヲ爲ス財產ハ滞納處分費及稅金ニ充ツル認定金額ヲ限度トシ徵收ノ便ニ供スルモノトス但通貨ヲ差押タルキハ其當日之ヲ縣金庫ニ拂込ヘシ若シ其ノ場合ニ至リ難キモノハ所屬町村役場ヘ保管セシメ廳ノ上直チニ其手續ヲ爲スヘシ

縣報第三百六十六號 明治三十七年十月三日 第三種郵便物認可

徵 收 令 書

第壹號 書式
用紙適宜 縱五寸橫四寸

第 何 號	何 郡 (市) 何 町 村		納
	明 治 何 年 度	(前) (後) 半 期	
又ハ何月分		縣 稅 何 稅	納
一金何程			
元帳 割印			
右何年何月何日限縣金庫何支金庫へ納付スヘシ			
年 月 日			
何郡(市)長氏名印			

第貳號 書式

用紙適宜 縦五寸ノモノ二枚 横五寸
横四寸ノモノ一枚 横三寸五分ノモノ一枚

納付書

第 何 號	何 郡(市)何 町村 大字 何 何 某 納
明治 何 年度	又(前)(後) 半 期
又(前)(後) 半 期	縣
又(前)(後) 半 期	稅 何
又(前)(後) 半 期	稅

一金何程

右明治何年何月何日限縣金庫何支金庫へ納付スヘシ

年 月 日

何郡(市)長氏名印

金庫 割印

領收證書

第 何 號	何 郡(市)何 町村 大字 何 何 某 納
明治 何 年度	又(前)(後) 半 期
又(前)(後) 半 期	縣
又(前)(後) 半 期	稅 何
又(前)(後) 半 期	稅

一金何程

右明治何年何月何日領收

縣金庫何支金庫印

金庫 證印

金庫 割印

通知書

第 何 號	何 郡(市)何 町村 大字 何 何 某 納
明治 何 年度	又(前)(後) 半 期
又(前)(後) 半 期	縣
又(前)(後) 半 期	稅 何
又(前)(後) 半 期	稅

一金何程

右明治何年何月何日領收

縣金庫何支金庫印

何郡(市)長氏名殿

金庫 證印

第三號 書式

用紙適宜 縦五寸ノモノ二枚
横四寸

第 何 號	何 某 納
明 治 何 年 度 縣 稅 第 何 期 何 稅 又 ハ 何 月 分	
一金何程	
右明治何年何月何日限何郡(市)町村收入役(納付スヘ)	
年 月 日	何郡(市)何町村長氏名印
收入役 割印	
第 何 號	何 某 納
明 治 何 年 度 縣 稅 第 何 期 何 稅 又 ハ 何 月 分	
一金何程	
右領收候也	
年 月 日	何郡(市)何町村收入役氏名印

備 考

- 一 市町村ニ於テ税金ノ取扱上必要ナルニ於テハ領收證書ノ外ニ適宜別符ヲ附着シ又用紙寸法ハ其用紙ノ便宜ニ依ルモ妨ナシ以下之ニ全シ
- 二 納税人ニ於テ市町村收入役ニ税金ノ拂込ヲ爲スルハ徵稅傳令書ニ現金ヲ添付シ差出シ收入役ニ於テハ式ノ如ク證明印ヲ爲シ其領收證書ヲ納税人ニ交付スルモノトス

第五號 書式

納稅管理申告書

一納稅地 何郡(市)何町村ニ於テ何々税ヲ納ム
 一納稅義務者 住 所 氏 名
 右申告候也

年 月 日

納稅義務者何ノ某印

納稅管理人

何郡(市)何町村

何 某 印

何郡(市)長氏名宛

(備考)

郡ノ所轄ニ屬スル申告書ハ該町村役場ヲ經由スルモノトス

第六號 書式 用紙寸法適宜

催 促 状	
一 金何程 内 金何程 内 金何程 一金拾錢	滞 納 金 何 税 (目) 何 税 (目) 督促手数料
明治何年何月何日限額金庫何支金庫へ拂込ヘシ若シ其期限ヲ過キ完 納セサルハ直チニ財産差押處分ヲ爲スヘシ	何郡(市)長氏名印
年 月 日	

第七號 書式

用紙適宜 縱五寸ノモノ二枚 横五寸
横四寸 横三寸五分ノモノ一枚 接續

納付書

領收證書

通知書

<p>第 何 號</p> <p>明治何年度 縣</p> <p>何郡(市)何町村大字何何某 納</p> <p>稅 滯納税金及滯納處分費收入</p>	<p>一金何程</p> <p>外金拾錢 督促狀手数料</p> <p>何 稅</p> <p>右明治何年何月何日限縣金庫何支金庫(納付ス)シ</p> <p>年 月 日</p> <p>何郡(市)長氏名印</p>	<p>第 何 號</p> <p>明治何年度 縣</p> <p>何郡(市)何町村大字何何某 納</p> <p>稅 滯納税金及滯納處分費收入</p> <p>一金何程</p> <p>外金拾錢 督促狀手数料</p> <p>何 稅</p> <p>右領收候也</p> <p>年 月 日</p> <p>縣金庫何支金庫印</p>	<p>第 何 號</p> <p>明治何年度 縣</p> <p>何郡(市)何町村大字何何某 納</p> <p>稅 滯納税金及滯納處分費收入</p> <p>一金何程</p> <p>外金拾錢 督促狀手数料</p> <p>何 稅</p> <p>右明治何年何月何日領收</p> <p>何郡(市)長氏名殿</p> <p>縣金庫何支金庫印</p>
--------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第八號 様式

用紙厚紙 縦二寸五分横壹寸五分

表

第 號

縣稅滯納
處分証票

郡(市)役
所 印

裏

何郡(市)役所

官職氏名

○和歌山縣告示第二百七十一號

奈良縣ニ於テハ牛疫豫防ノ爲メ牛市ヲ停止シタル旨通知アリタリ

明治三十七年九月二十九日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 教

○和歌山縣告示第二百七十二號

兵庫縣加西郡賀茂村ニ於テ本月二十二日牡牛一頭氣腫疽ニ罹リ斃死セシ旨通知アリタリ

明治三十七年九月二十九日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 教

○和歌山縣告示第二百七十三號

獸疫發生并ニ全豫防區域追加廢止ニ付左ノ通り通知アリタリ

明治三十七年九月二十九日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 教

一大分縣直入郡ニ於ケル獸疫終熄ニ付全縣令第四十三號ハ本月二十日限り廢止セリ

一三重縣ニ於テ牛疫豫防ニ關スル全縣令第四十九號ヘ左ノ通り追加ス

兵庫縣美婁郡

一兵庫縣安栗郡神戶村ノ内安黒村ニ於テ本月八日牝牛一頭炭疽ニ罹リ斃死セリ

○和歌山縣告示第二百七十四號

愛媛、岡山、高知、兵庫、大坂ノ各府縣ニ於テ獸疫豫防ノ爲メ左ノ縣府令發布ノ旨通知アリタリ

明治三十七年九月二十九日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 教

愛媛縣令第六十一號

縣令第三百六十六號

明治三十七年十月三日

第三種郵便物認可

九

流行性鶏口瘡豫防ノ爲メ左ノ地方ヲ發シ又ハ全地ヲ經タル牛羊山羊家及其ノ生肉生皮生骨
其他病毒傳播ノ虞アル物件ノ輸入ヲ停止ス

但蒸車船舶積込ノ儘全地ヲ經過シタルモノハ此限リニアラス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十七年九月二十日

愛媛縣知事 管 井 誠 美

福岡縣遠賀郡

岡山縣令第七十四號

本年(九月)岡山縣令第六十二號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十七年九月二十二日

岡山縣知事 檜 垣 直 右

高知縣令第四十九號

明治三十七年高知縣令第四十四號中津名郡ノ下ニ飾磨郡美婁郡ノ六字ヲ追加ス

明治三十七年九月二十二日

高知縣知事 宗 儀 政

(參照)

明治三十七年高知縣令第四十四號ハ獸疫豫防ニ關スル件ナリ

大坂府令第七十五號

本年八月大坂府令第六十一號中第一號美婁郡ノ下ニ加西郡ノ三字ヲ追加ス

明治三十七年九月二十三日

大坂府知事 高 崎 親 章

兵庫縣令第七十六號

神奈川縣下ニ於テ牛疫續發ニ付本年(九月)兵庫縣令七十二號左記中へ左ノ通り追加ス

明治三十七年九月二十五日

兵庫縣知事 服部 一三

一 鎌倉郡 三浦郡

大坂府令第號

明治三十七年大坂府令第六十六號中左ノ通り改正ス

明治三十七年九月二十五日

大坂府知事 高崎 親章

一 第二號鶴橋村大字岡ノ下ニ「大字猪飼野大字木野(字東川田用惡水路以南)」ヲ加フ

○和歌山縣告示第二百七十五號

左記ノ者小學校教員無試験檢定ニ依リ各頭書ノ教員免許狀ヲ授與セリ

明治三十七年九月二十九日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 教

記

尋常小學校本科正教員

千葉縣士族

宇島 鉄之助
文久二年十一月生

和歌山縣平民

谷口 米之助
明治十三年十二月生

小學校准教員

縣報第三百六十六號

明治三十七年十月三日

第三種郵便物認可

十

全

伊藤 恒太郎
明治十四年四月生

全

水谷 文太郎
明治十六年二月生

全

和歌山縣士族

西 祐彦
明治十七年十一月生

○和歌山縣告示第二百七十六號

明治三十六年七月本縣告示第三百三拾號中第五號ヲ左記ノ通り改正シ本年十月一日ヨリ實

施ス

明治三十七年九月卅日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 教

第五 白圓菱ハ當分ノ内縣立地方測候所及縣立水産試驗場構内ニアル正式暴風警報信號標

ニ限リ左ノ場合ニ於テ掲揚ス

三重縣志摩國ヨリ東北千葉縣犬吠崎ニ至ル本邦南東沿岸并ニ近畿地方ヨリ西瀬戸内全

部ヲ含ミ九州南部沿岸ヲ警戒シタル場合

○和歌山縣告示第二百七十七號

當縣西牟婁郡串本町縣立水産試験場管内暴風警報信號標ニ於テ中央氣象臺ヨリ發スル全國天氣豫報ニ據リ每日午前十一時前ヨリ日没ニ至ル迄當日午後六時ヨリ翌日午後六時ニ至ル二十四時間内ノ第二區(本邦)ノ天候ヲ左記方法ニ依リ信號シ來ル十月一日ヨリ實施ス

明治三十七年九月卅日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 教

第一 全國天氣豫報ハ風向、晴雨及ヒ氣温ニ就テ發スルモノトス
但シ風向ハ概テ和風以上氣温ハ昇降著シキ時ニ限リ發スルモノトス

第二 風向ノ豫報ハ左ノ要語ヲ以テ示ス
一 北ノ風 北方ヨリ吹來ルヲ云フ
一 東ノ風 東方ヨリ吹來ルヲ云フ
一 南ノ風 南方ヨリ吹來ルヲ云フ
一 西ノ風 西方ヨリ吹來ルヲ云フ
一 區々ノ風 概テ靜穩ニシテ方向一定セサルヲ云フ

第三 晴雨ノ豫報ハ左ノ要語ヲ以テ示ス
一 晴 雲少キヲ云フ
一 曇 雲多キヲ云フ
一 雨 雨降ルヲ云フ
一 雪 雪降ルヲ云フ

第四 氣温ノ豫報ハ左ノ要語ヲ以テ示ス

縣報第三百六十六號 明治三十七年十月三日 第三種郵便物認可 十一

一 温度昇ル氣温ノ前日ヨリ著シク昇ルヲ云フ
一 温度降ル氣温ノ前日ヨリ著シク降ルヲ云フ
第五 風向、晴雨ノ豫報要語ハ之ニ附加語ヲ添ヘ又ハ重用スルコトアル可シ
第六 疾風以上ノ風ハ縣立和歌山地方測候所ニ於テ暴風警戒時間外特ニ其處アリト認タル
協合ニ限リ臨時ニ警報ヲ發スルモノトス而シテ其信號掲揚時間ニハ別ニ制限ヲ設ケス
第七 天氣豫報信號標ハ左ノ三種トス
一 風向ハ三角旗ヲ以テ示ス其分類左ノ如シ
但シ要語區々ノ風ナルキハ風向ヲ信號セス

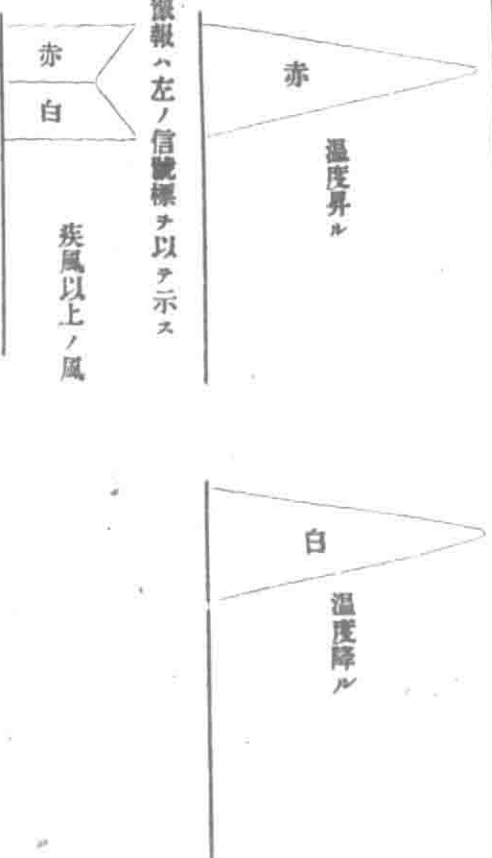


一 晴雨ハ方旗ヲ以テ示ス其分類左ノ如シ



一 氣温ノ昇降ハ長旗ヲ以テ示ス其分類左ノ如シ

第八 臨時豫報ハ左ノ信號標ヲ以テ示ス



第九 豫報要語ヲ重用スル場合ハ其順序ニ依リ信號標ヲ連掲スルモノトス

第十 豫報要語ニ附加語(即驟雨、雨模様ノ處アリ、雪模様ノ處アリ、雨又ハ雪模様ノ處アリ)ノ雨模様アリ、雪模様アリ、雨又ハ雪模様アリ)アル場合ハ雨雪旗ノ四分一大ナル信號標ヲ連掲スルモノトス

○町村長及助役ノ異動

縣報第三百六十六號 明治三十七年十月三日 第三種郵便物認可 十二

右九月廿八日認可
海草郡西和佐村有給助役 栗栖庄太郎

右九月廿九日認可
日高郡龍神村有給村長 玉置岩雄

右九月廿九日認可
海草郡和歌浦町有給町長 貞木美成
全 郡安原村長 楠見大次郎

○觀測

明治三十七年九月廿八日ヨリ三日間當地氣象概況

月日	九月二十八日	九月二十九日	九月三十日
種類	前年	本年	前年
平均氣壓	七六三耗二	七五八耗七	七六三耗四
平均氣温	一二度二	一八度八	一二度七
	本年	前年	本年
平均氣壓	七六二耗六	七六一耗四	七六四耗一
平均氣温	一八度四	二三度七	一九度四

可認物便郵種三第日八月五年三十三治明

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十七年九月二日發行
明治三十七年九月三日發行

〔金參照〕

和歌山縣

印刷所 須賀山町久保町一丁目一番地
印刷所 和歌山町久保町一丁目二十四番地
印刷所 和歌山町久保町一丁目二十四番地
印刷所 和歌山町久保町一丁目二十四番地

	雨

縣報第百六十六號 明治三十七年十月三日 第三種郵便物認可 十三終

最高氣温	最低氣温	最多風向	平均風力	天氣	雨雪量	記事
二七度七	一六度七	北東	二米三	半晴	〇耗〇	午后四時 三十五分 海上風雨 ノ警報着 電 午后九時 三十五分
二四度七	一三度三	北西	二米三	晴		光 北西、西、 南等ニ電
二五度八	一九度八	東北東	二米一	雨又曇	二耗二	前夜來時 々降雨午 后三時歇 午後月環
二五度四	一二度九	北東	二米六	晴		光 南方ニ電
二八度七	二〇度四	北東	二米五	雨後曇	三耗〇	午前三時 五分 全十時三 十五分迄 時々降雨 午後北方 電光
二六度〇	一三度三	東北東	二米六	半晴		午前月景 午後六時 海上風雨 沿海ノ警 報到着